

キャンドルクラフト

1 所要時間 2時間

2 服装 活動しやすい服装、上靴

3 準備物 利用者 ・完成したろうそくを入れる袋や箱
施設側 ・ろうそく …1人5本
・貸し出しセット…1セット6人分（最大24セット貸し出し可能）

品名	数量	品名	数量
なべ	1	工作板	6対
ガスコンロ	1	洗たくばさみ	30
色付ろう	4	物干し	
透明ろう	2		

- ・色付ろうはビビッドカラー(赤、青、黄、緑)とパステルカラー(黄緑、オレンジ、ピンク、水色)の2種類のセットがある。
- ・工作板は、凹面のある板と、平らな板の2枚で1対。

4 活動場所 野外活動棟ホール

5 活動の流れ

時間	活動内容
0	・作る手順についての説明を受ける。 ・用具、材料を受け取り、数を確認する。
25	・作業場所を決める。
30	・ろうを温める。 ・ろうを平らにする。 ・ろうそくをひねる。 ・着色する。
90	片付け・清掃
120	解散

6 活動の留意点

(1) 活動計画上の留意点

① 活動の特性について

キャンドルクラフトは、野外活動棟のホールで行うため、準備が整っていれば雨天時でも活動可能である。

② 班の人数編成と最大実施人数について

貸し出す用具は1セット6人分を基準としている。熱湯の入った鍋を囲むことと、透明なろうが各鍋に2個しかないと考えると、安全上6名以下の人数編成が望ましい。

道具は最大24セット（140名分程度）貸し出すことが可能である。12班を超える場合はホールAとホールBの両方を使用する。

③ 活動後の片付けについて

活動が終わったら、清掃と片付けを学級で分担して行う。ホール中央にある掃除道具や、スクレイパー等を使って、床についたろうやごみなどの掃除をする。

(2) 安全管理上の留意

- ・ 活動時はガスコンロで常に湯を沸かしているため、やけどには十分に留意すること。
- ・ ホールの床が滑りやすいので上靴を着用したり、走らないようにしたりすること。
- ・ 活動中、ガスの残量や、鍋の中のお湯の残量を小まめにチェックし、コンロの消火や鍋の空だきが無いよう指導者とセンター職員で注意すること。

7 活動指導資料

時間	生徒の動き	指導者の支援	職員の支援
15	・ 用具の受け取り ・ 数の確認	・ 材料の受け取り ・ 配布	・ 施設利用のための説明 ・ 作る手順の説明 ・ 用具の受け渡し
30	・ ろうを温める。 ・ ろうを平らにする。 ・ ろうそくをひねる。 ・ 着色	・ 安全管理 ・ 活動の支援	・ 安全管理 ・ 活動の支援 ・ ガスコンロ交換 ・ 火の調節 ・ 残り湯の調節
90	・ 片付け、清掃	・ 貸し出し道具の片付け	・ 返却道具の点検
120	解散		・ 掃除、点検